

一般社団法人山口県医師会平成27年度第5回理事会

平成27年6月11日(木) 午後5時～午後8時6分

小田会長、吉本・濱本副会長、河村専務理事、弘山・萬・加藤・藤本・今村常任理事、沖中・香田・中村・清水・原・船津理事、山本・武内・藤野監事

協議事項

1 第176回山口県医師会定例代議員会における質問について

予告質問2件についての協議を行った。

2 中国四国医師会連合分科会の議題について

9月26日に岡山県医師会担当で開催される3分科会のうち、第1分科会の地域包括ケア及び第3分科会の医療環境（勤務環境、看護師対策、人材育成、その他）の議題について協議を行った。

3 スポーツ医部会の今後の展開について

標記については、本年度第1回理事会において、スポーツ医部会役員会の意見を集約し、その結果により再度協議を行うこととしていた。5月28日開催の部会役員会においては、部会設立時の主な目的であった山口国体の成功と国体後のスポーツ体制の整備、各スポーツドクターとの連携は今日一定の成果をあげていること、スポーツ医部会とスポーツ医学委員会では、現在類似した活動を行っていることから一本化することが妥当であり、今年度末の役員任期をもって解散したいとの方向性が示された。この協議結果を受け、今年度末を持って部会を解散することが決定し、今秋開催予定の部会総会に諮り、承認を得ることとなった。

4 韓国における中東呼吸器症候群（MERS）について【経過報告】

韓国で発生しているMERSについて、厚生労働省及び県の対応並びに本会の対応等について経過報告を行った。国内発生時の医療提供体制について、疑似患者が発生した場合の自治体向け暫定的対応フロー図及び情報提供票で感染症に感染した疑いのある患者への対応が示された。本会では厚生労働省、日本医師会及び山口県からの通知を各郡市医師会に情報提供し、会員への周知を徹底している。

5 第23回世界スカウトジャンボリー開催に伴う感染症サーベイランス体制について

山口県健康福祉部長より、世界スカウト機構主催の世界スカウトジャンボリーが、7月28日～8月8日に山口市阿知須きらら浜で開催されることから、期間中に感染症がまん延しないように早期発見・対応を目的に感染症法に基づくサーベイランスを強化するとの通知があった。サーベイランスの強化期間は、世界スカウトジャンボリーの前後一週間の7月21日～8月13日までとし、69定点医療機関から疑似症報告とインフルエンザ報告を管轄の健康福祉センターに毎日行うことから、本会宛に協力依頼があり了承した。

6 臨床研修医会員の会費減免に関する対応方針について

日本医師会では組織強化に向けた取組みの一環として、研修医の会費減免（無料化）が平成 27 年度から実施されることが決定し、都道府県医師会及び郡市医師会に対しても各会費減免への協力要請があった。本会では、研修医会費を減免することで会員となり、医師会活動による医師の社会的役割の広さ・大きさを認識し、研修終了後も医師会活動に参画していただけるよう会費を減免することとした。なお、会費賦課徴収規程の改正が必要なことから、所定の手続きを経て実施すること及び郡市医師会に対しても本会から協力要請をすることが決定した。

7 平成 27 年度山口県救急医療功労者知事表彰候補者の推薦について

山口県健康福祉部長より標記功労者の表彰候補者推薦依頼があり、郡市医師会から推薦のあった 1 名を推薦することが決定した。

8 「ねりんピックおいでませ！山口 2015」大会総合案内リーフレットへの広告掲載について

ねりんピック推進室より、標記リーフレットへの広告掲載依頼があり、広告協賛することが決定した。

9 山口市コンベンション施設の整備に関する要望について

山口市内には、全国規模・中四国規模の医師会関係の学会・会議等に適当なコンベンション施設がなく、本会ははじめ各学会等は大会の引受不可や会場分散開催を余儀なくされているところである。山口市においては、新山口駅周辺の機能強化を図り、活力ある広域経済・交流圏を実現するためターミナルパーク事業を実施しているが、整備する施設の規模や運営主体等一部不透明で、早期にかつ着実な実施についてはまだ不安な状況である。本会は、早急なコンベンション機能の強化が県内各種機関の業務の発展並びに山口市の地域活性化に重要であることから、着実に施設整備が進められるよう山口市長に要望書を提出することが決定した。

人事事項

1 禁煙推進委員会委員について

山口県健康増進課の人事異動により、西生敏代課長の委員就任が決定した。

2 「学校におけるアレルギー疾患対応マニュアル」作成委員会委員について

山口県教育庁学校安全・体育課より標記委員の推薦依頼があり、長谷川真成 先生を推薦することが決定した。

報告事項

1 警察医会第 1 回役員会（5 月 21 日）

平成 26 年度事業報告、平成 27 年度事業計画及び総会・研修会について協議を行った。（弘山）

2 第 39 回山口県学校環境衛生研究大会（5 月 22 日）

山口県学校保健連合会の会長として祝辞を述べた。（小田）

3 山口県福祉サービス運営適正化委員会第 90 回苦情解決部会（5 月 22 日）

平成 26 年度の苦情相談の受付状況及び苦情相談の現状について協議した。なお、ねんりんピック開催時に相談コーナーが開設されることになった。（今村）

4 山口県国民健康保険審査会（5 月 22 日）

不服申請 1 件について協議を行った。（小田）

5 第 1 回生涯教育委員会（5 月 23 日）

第 100 回（平成 29 年度）山口県医学会総会、平成 27 年度のセミナーのテーマ案等について協議を行った。（今村）

6 第 28 回大島医学会（5 月 24 日）

開会式において、来賓として祝辞を述べた。会員及び看護師等による一般演題 11 題の後、福岡クリニック在宅部栄養課（東京都）の中村育子 訪問管理栄養士による講演「高齢期を元気で過ごすための食事」が公開講演会として行われた。

（小田、河村）

7 第 1 回母体保護法指定医師研修会（5 月 24 日）

「母体保護法指定医師の指定基準」に則ったカリキュラムにおいて、本年度 1 回目の研修会を開催した。受講者 18 名。（藤野）

8 山口県共同募金会評議員会（5 月 25 日）

議長選出後、平成 26 年度事業報告及び収支決算報告、理事・監事の選任等について審議が行われた。（事務局長）

9 山口県被害者支援連絡協議会第 19 回性犯罪被害分科会（5 月 26 日）

関係機関 7 団体及び県警 5 課より業務説明がされた後、事例による研究・検討が行われた。（事務局長）

10 山口県病院協会定時総会（5 月 27 日）

来賓として、祝辞を述べた。（濱本）

11 第 1 回健康スポーツ医学委員会（5 月 28 日）

今年度の健康スポーツ医学実地研修会の講師等について協議を行った。（沖中）

12 スポーツ医部会理事会（5 月 28 日）

山口県ねんりんピック推進室の吉岡室次長から「ねんりんピックおいでませ！ 2015 山口」の大会期間中の医療救護体制についての説明及び協力要請があった。続

いて、今後のスポーツ医部会について協議し、全会一致により今年度末で解散することが妥当であるとの結論が出された。(沖中)

13 第1回山口県糖尿病対策推進委員会(5月28日)

平成26年度事業報告及び平成27年度事業計画案について協議した。(弘山)

14 医事案件調査専門委員会(5月28日)

病院1件、診療所3件の事案について審議を行った。(中村)

15 地域医療構想策定協議会第1回会議「岩国」(5月28日)

標記会議の開催により8圏域での第1回会議がすべて終わったことから、各圏域の意見・要望を取り纏め、6月4日に関係役員で今後の対応について協議を行った。山口県は、7月4日に「地域医療連携あり方検討会～地域医療構想(ビジョン)等を踏まえて～」を開催する予定で、パネルディスカッション「山口県の地域医療をいかに進めるか」のパネリストとして弘山常任理事が参加することになった。(弘山)

16 都道府県医師会医療事故調査制度担当理事連絡協議会(5月29日)

10月の医療事故調査制度の施行を控え、5月8日に厚生労働省から省令通知が公表されたことを受け、今後の医師会の役割及び取組み等の説明と都道府県医師会に対しての準備依頼等を目的に協議会が開催された。「医療事故調査制度の実施に至る経緯について」(日本医師会 松原謙二 副会長)、「医療事故調査制度について」(厚生労働省医政局総務課医療安全推進室 大坪寛子 室長)、医療安全対策委員会中間答申「医療事故調査制度において医師会が果たすべき役割について」(平松恵一 同委員会委員長)等の説明及び質疑応答が行われた。(中村)

17 山口大学創基200周年記念式典・祝賀会(5月30日)

山口大学は、1815(文化12)年に長州藩士の上田鳳陽により創設された「山口講堂」を淵源とし、本年200周年を迎えることから記念式典・祝賀会が催され、出席した。(小田、今村)

18 第1回男女共同参画部会育児支援WG・育児サポーターバンク運営委員会合同委員会(5月31日)

相談対応事例とサポーターの登録状況について報告があり、その後、サポーター研修会、サポーターミニ集会、サポーター通信の発行等について協議を行った。
(今村)

19 男女共同参画部会介護支援WG・総会WG(5月31日)

介護支援WGでは、昨年度実施した「介護に関するアンケート調査」の集計・分析及び今後の取組みについて協議を行った。総会WGでは、平成28年3月6日開催予定の総会における特別講演等、プログラムについて協議を行った。(今村)

20 日医第4回社会保険診療報酬検討委員会（6月3日）

日医会長からの諮問「平成26年度診療報酬改定の評価」及び「次期診療報酬改定に対する要望書」の内容について協議を行った。（萬）

21 やまぐち移植医療推進財団第1回通常理事会（6月3日）

理事の選任、平成26年度事業報告及び収支決算報告、評議員会の開催について審議され、その後、事業の進捗状況の報告が行われた。（濱本）

22 保険委員会（6月4日）

平成27年度社会保険医療担当者指導計画についての説明及び諸問題について協議を行った。（萬）

23 第1回学校心臓検診検討委員会（6月4日）

今年度の検診の進め方、研修会の講師・演題、精密検診・追跡検診の受診率改善等について協議を行った。（沖中）

24 広報委員会（6月4日）

会報主要記事掲載予定（7～9月号）、新コーナーの企画、緑陰随筆、tys「スパ特」のテーマ等について協議を行った。（今村）

25 郡市医師会看護学院（校）担当理事・教務主任合同協議会（6月3日）

平成27年度基本調査に基づき、学院（校）の運営状況及び各校からの意見要望（実習施設について等）について協議を行った。山口県医務保険課からは、今年度における新規事業・助成について説明が行われた。また、今年度のバレーボール大会は下関看護専門学校の引受けで6月21日に山口市のスポーツ文化センターで開催される。（加藤）

26 山口県予防保健協会第5回定例理事会（6月4日）

平成26年度事業報告、決算報告及び評議員会の招集について審議された。（中村）

27 医学功労賞副賞選定（6月6日）

田原陶兵衛窯にて副賞の選定を行った。（河村）

28 日本医療法人協会シンポジウム「医療事故調に備える」（6月7日）

昭和大学病院の有賀 徹 院長による講演「医療事故調査制度施行に備えて行うべきこと」及びシンポジウム「医療事故調査制度と管理者の責任」等が行われた。

（小田）

29 山口県健康福祉財団第2回理事会（6月8日）

平成26年度事業及び決算の報告、評議員会の招集について審議され、貸館業務の利用率向上対策について協議が行われた。（事務局長）

30 社会保険診療報酬支払基金山口支部幹事会（6月10日）

審査委員の改選状況、再審査の査定割合等について報告が行われた。（小田）

31 会員の入退会異動

入会 16 件、退会 10 件、異動 29 件。（6 月 1 日現在会員数：1 号 1,310 名、2 号 877 名、3 号 413 名、合計 2,600 名）

32 山口県医師会会費賦課状況

第 4 回理事会で山口県医師会費の減免申請が承認され、減免総額が決定したことから、平成 27 年度会費の賦課状況が報告された。（河村）

医師国保理事会 第 3 回

1 全医連代表者会について（5 月 27 日）

全協副会長並びに各種委員会委員の推薦についての報告や平成 27 年度事業計画、会費、予算等について協議した。

最後に、生活習慣病予防研究センター代表の岡山 明 氏による「データヘルス計画を活かした医療機関の健康づくりに向けて」と題した講演があった。（小田）

2 平成 27 年度保険料賦課額について

第 2 回理事会において、保険料の減免申請が承認され減免総額が決定したことから、6 月 1 日現在の賦課額を算出した。予算編成時の昨年 12 月末以降、家族が減少したため、予算額を下回っている賦課状況が報告された。（沖中）